

時 分 日 月 時 分 受 付 日 時

選挙公報掲載文

自民党公認
公明党推薦
星北斗ほしほくと
五十八歳

“命を守るため、 すべてを懸けて 働きます。”

私が政治の世界を強く意識するようになったのは、あの東日本大震災がきっかけでした。地域の医療を守るため、県内の病院の皆さん、市や県の職員さんと協力して取り組んでいたのですが、調整に手こずるような場面がたくさんありました。そんな時、医療従事者という立場に限界を感じ、政治の果たす役割の大きさを痛感したのです。さらにこのたびの新型コロナウイルスの感染拡大です。私も県医師会の副会長として奔走してきましたが、ワクチンの確保、国や県との折衝などで、次々と難題にぶつかりました。

このように幾度も医療の危機に直面し、私は政治という新たな世界で、これまでの経験を活かし、福島の命を守るため、この国の未来のために働くことを決意いたしました。もちろん、私が訴えたいのは医療のことだけではなく、子育てがしやすいまちづくり。高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせるまちづくり。震災のダメージがいまなお残る農林水産業の振興、地域経済の活性化など。わが県が抱えている諸問題に全力で取り組みます。覚悟はできています。私のすべてを懸けて、福島の皆さまのために働きます。

前福島県医師会副会長、地域医療の現場を知る星北斗だからできる!!

新型コロナ、災害、国際情勢の緊迫化。今こそ政治の安定が必要です。

●プロフィール
昭和39年……3月18日郡山市生まれ。金透小、郡山二中、安積高校卒業
平成元年3月……東邦大学医学部卒業
平成元年4月……医系技官として旧厚生省に入省、秋田県保健福祉部技術吏員に
平成4年……労働省労働基準局安全衛生部、化学物質調査課係長を拝命
平成8年……ハーバード大学公衆衛生大学院客員研究員として約1年間、米国留学
平成10年……財団法人星総合病院副理事長
平成11年……ポラリス保健看護学院学院長
平成12年……日本医師会常任理事(平成16年3月まで)
平成13年……東邦大学医学部客員教授
平成14年……日本看護学校協議会常任理事
平成17年……福島県医師会常任理事
平成18年……郡山医師会理事(平成27年3月まで)
平成20年……福島県立医科大学臨床准教授
平成20年……財団法人星総合病院理事長
平成23年3月……福島県「県民健康管理調査」検討委員
平成24年……公益財団法人星総合病院理事長
平成25年6月……福島県「県民健康調査」検討委員会座長(令和4年1月まで)
平成27年……福島県医師会副会長(令和4年6月まで)
平成29年……日本看護学校協議会副会長
令和2年……福島県立医科大学臨床教授

最新情報はWebサイト、SNSをチェック!
 hoshi-hokuto.jp

- 福島復興!
- 地域医療の充実!
- コロナ対応に全力!
- 子どもたちの未来!

注意

一、氏名欄に記載する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

候補者氏名	
連絡の場所及び電話番号	